

14-1 ポリマーフロンティア 21

主題＝地球環境とポリマー -高分子で地球環境改善に貢献できることは？-

<趣旨> 近年、新興国の産業の発展とともに地球規模での環境の悪化が懸念されています。一方で、国内においては、東日本大震災により福島第一原子力発電所が甚大な被害を受け、震災後3年近くが過ぎた今でも、放射性物質の拡散による土壌汚染や汚染水などへの対策が焦眉の課題となっています。このような状況のもと、環境負荷低減や環境浄化に貢献できる高分子材料への期待が高まっています。環境負荷低減、環境浄化の視点から、これらの材料の研究開発動向に関して、この分野の第一人者の方々にご講演をいただきます。

主催 高分子学会 行事委員会
協賛 (予定) 繊維学会、日本化学会、日本生物工学会、日本放射線化学会、日本膜学会、日本油化学会
会期 2014年4月11日(金) 10:20-17:30
会場 東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
交通 東急目黒線・東急大井町線 大岡山駅下車徒歩約1分
<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

プログラム

<10:20-11:10>

1. 放射性セシウムは水に溶けない！ 化学的な実態と高分子材料を利用した除去の可能性、今後の対策 (福島大共生システム理工) 金澤 等
2011年3月15日に放射性物質が飛散して、当日の夜、雨と雪が降ったところに多く降りた。その後3年近く経ち、放射性セシウムは水にとけない状態で、地表数センチメートル内に主に存在している。このような放射性セシウムを簡単に除去できる材料はないのでは？ では生活はどうすべきか？ 高分子材料の利用で対策を考える。

<11:20-12:10>

2. シクロデキストリン材料を用いたオイル中の有害物質の除去 (阪大院工) 木田 敏之
オイル中に混入したポリ塩素化ビフェニル(PCB)などの有害物質の除去は、安全・安心で持続可能な社会を実現するために早急に解決すべき課題である。本講演では、植物由来の環状オリゴ糖‘シクロデキストリン’の分子認識能を利用した、オイル中の有害物質の除去について紹介する。

<12:10-12:30> 名刺交換会 (参加者・講師のふれあいの場)

<13:30-14:20>

3. 放射線を活用した金属捕集材料の開発 ～環境浄化と資源確保を目指して～ (JAEA) 瀬古 典明
既存の高分子材料にその特性を損なうことなく、別の機能を付与できる手法として放射線加工技術がある。本編では、この技術により開発した金属捕集材料について、河川中のヒ素や環境中のセシウム除去を実例で紹介する。

<14:30-15:20>

4. 随伴水処理のための高性能濾過フィルター、オイル吸着材の開発 (物材機構) 一ノ瀬 泉
石油や天然ガスなどの地下資源の開発現場では、大量の随伴水が生じており、安価で耐久性のある分離機能材料が求められている。本講演では、カーボンやエンブラ製の最新の濾過フィルター、吸着材について概観したい。

<15:20-15:40> 名刺交換会 (参加者・講師のふれあいの場)

<15:40-16:30>

5. 逆浸透膜水処理における高分子の影響 (栗田工業) 川勝 孝博
逆浸透膜水処理を安定実施するためには、高分子に起因する逆浸透膜汚染による膜性能の低下を回避する必要がある。本講演では、被処理水中に含まれる高分子と膜材質との相互作用解析と逆浸透膜汚染対策について紹介する。

<16:40-17:30>

6. リグノセルロース系バイオマスからのバイオ燃料・バイオ化学品生産プロセスの開発 (神戸大院工) 近藤 昭彦
再生可能で食糧と競合しないセルロース系バイオマス資源から、バイオ燃料や化学品を生産するバイオリファイナリーの確立が求められている。本講演では、細胞表層工学技術を用いて高効率な物質生産を実現する、環境調和型バイオリファイナリーについて述べる。

参加要領

- 1) 定員 100 名
- 2) 参加費 ①企業 21,600 円 ②大学・官公庁 10,800 円 ③学生 1,080 円
④名誉・終身・フェロー・ゴールド会員・シニア会員 3,240 円
年会費制会員^{*1)} の団体からのご参加は、何名様でも割引料金となります。
a) 会社 17,280 円 b) 大学・官公庁 8,640 円
^{*1)} 詳細は <http://main.spsj.or.jp/c18/nenkaihisei.html> をご覧下さい。
- 3) 申込方法 学会ホームページ <http://www.spsj.or.jp/entry/> から登録、または下記 FAX 申込書にてお申込み下さい。随時、参加証と請求書を送付いたします。
- 4) 参加費の支払い 4月末日までにお願いします。
銀行・郵便振替の領収をもちまして本会からの領収書とさせていただきます。
振込先：
三菱東京 UFJ 銀行 銀座支店 (普通) 1126232 公益社団法人高分子学会
郵便振替：00110-6-111688 公益社団法人高分子学会
- 5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

申 込 先 高分子学会 ポリマーフロンティア 21 係
〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F
TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737

高分子学会 ポリマーフロンティア 21 係 行 FAX 03-5540-3737

14-1 ポリマーフロンティア 21 参加申込書

参加者名	
勤務先・部署	
電話	FAX
E-mail	
今後、高分子学会主催行事案内の E-mail 送付	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
勤務先住所 〒	—
送金方法 (送金額を記入し、該当するもの (□) にチェックしてください。)	
送金額 ¥	_____
(所属：□企業 □大学/官公庁 □学生 □名誉 □終身 □フェロー □ゴールド会員 □シニア会員 □年割)	

【個人情報について】
こちらに明記いただいた情報は、本行事の運営以外の目的で利用しません。